

DRUG

INFORMATION

2002 No. 14

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成14年6月7日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 - 平成 14 年 6 月 6 日の薬事委員会結果 -
- 2 . 院内処方医薬品について 3

Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイビーデイドライシロップ(トシル酸スプラタスト)	50mg / g	アレルギー性疾患治療剤	大鵬
アダラート CR 錠(ニフェジピン)	20mg / 錠	持続性カルシウム拮抗剤	バイエル
アレロック錠(塩酸オロパタジン)	5mg / 錠	アレルギー性疾患治療剤	協和醗酵
グリベックカプセル(メシル酸イマチニブ)	100mg / Cp	抗悪性腫瘍剤	ノバルティスファーマ
ルーラン錠(塩酸ペロスピロン水和物)	4mg / 錠	抗精神病剤	住友
ティシール(配合剤)	2mL / 組	生体組織接着剤	バクスター
デュロテップパッチ(フェンタニル)	2.5mg / 枚	持続性癌疼痛治療剤	協和醗酵
アルブミン-5%(人血清アルブミン)	250mL / V	血漿分画製剤	アベンティスベアリング
オムニパークシリンジ 300(イオヘキソール)	150mL / 本	非イオン性造影剤	第一
オメガシン点滴用(ピアベネム)	0.3g / V	カルバペネム系抗生物質製剤	明治
ゾラデックス LA デポ(酢酸ゴセレリン)	10.8mg / 筒	前立腺癌治療剤	アストラゼネカ
ヒュメゴン注(下垂体性性腺刺激ホルモン)	100 国際単位 / A	下垂体性性腺刺激ホルモン製剤	オルガノン
ベタフェロン皮下注(インターフェロン-β-1b)	960 万国単位 / V	多発性硬化症治療剤	シェーリング
マグネピストシリンジ(ガドペンテト酸メグルミン)	5mL / 筒	MRI 用造影剤	シェーリング

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
シングレア錠(モンテルカストナトリウム)	10mg / 錠	気管支喘息治療剤	萬有
マイスタン細粒(クロバザム)	10mg / g	抗てんかん剤	大日本
モービックカプセル(メロキシカム)	10mg / Cp	非ステロイド性消炎鎮痛剤	第一
レベトールカプセル(リバピリン)	200mg / 錠	抗ウイルス剤	シェーリング・ブラウ
アスプールの液(塩酸イソプロテレノール)	{0.5%} 50mL / V	気管支拡張剤	アズウェル
ワコピタール坐剤(フェノバルピタールナトリウム)	50mg / 個	抗けいれん剤	和光堂
イントロン A 注射用(インターフェロン-α-2b)	600 万国単位 / V	インターフェロン製剤	シェーリング・ブラウ
シプロキササン注(シプロフロキサシン)	300mg / 150mL / V	ニューキノロン系抗菌剤	バイエル
タゾシン静注用(タゾバクタムナトリウム, ピペラシリンナトリウム)	2.5g / V	βラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤	富山化学
フィジオ 140(配合剤)	500mL / 袋	電解質輸液	大塚
プログラフ注射液(タクロリムス水和物)	5mg / 1mL / A	免疫抑制剤	藤沢

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
クロミッド錠(クエン酸クロミフェン)	50mg / 錠	排卵誘発剤	塩野義
ケイキサレート(ポリスチレンスルホン酸ナトリウム)	5g / 包	高カリウム血症改善剤	鳥居
サノレックス錠(マジンドール)	0.5mg / 錠	食欲抑制剤	ノバルティスファーマ
バイミカード錠(ニソルジピン)	5mg / 錠	カルシウム拮抗剤	バイエル
フェナゾックスカプセル(アンフェナクナトリウム)	50mg / Cp	非ステロイド性消炎鎮痛剤	明治
プロニカ錠(セラトロダスト)	80mg / 錠	気管支喘息治療剤	武田
リボトリール錠(クロナゼパム)	2mg / 錠	抗てんかん剤	ロシュ
エトレン(エンフルラン)	250mL / 本	吸入麻酔剤	大日本
ベリブラスト(配合剤)	1mL / 組	生体組織接着剤	アベンティスベーリング
アポロン注射液(レセルピン)	1mg / 1mL / A	高血圧症治療剤	第一
シグマート注(ニコランジル)	48mg / V	不安定狭心症治療剤	中外
パピナールアトロピン注(配合剤)	1mL / A	あへんアルカロイド系麻薬	武田
ピシバニール	1KE / V	抗悪性腫瘍剤	中外

在庫がなくなり次第，処方中止とします。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エデクリル錠(エタクリン酸)	25mg / 錠	ループ利尿剤	萬有

在庫がなくなり次第，処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名
乾燥まむし抗毒素「タケダ」 → 乾燥まむし抗毒素“化血研”	6,000 単位 / V	抗毒素類	藤沢
沈降破傷風トキシイド → 沈降破傷風トキシイドキット	約 5Lf / 0.5mL / 本	トキシイド類	武田

在庫がなくなり次第，変更とします。

院外処方医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイピーデイドライシロップ(トシル酸スプラタスト)	50mg / g	アレルギー性疾患治療剤	大鵬
アクトネル錠(リセドロン酸ナトリウム水和物)	2.5mg / 錠	骨粗鬆症治療剤	アベンティスファーマ
バイナス錠(ラマトロバン)	75mg / 錠	アレルギー性鼻炎治療剤	バイエル
アルデシン AQ ネーザル(プロピオン酸ベクロメタゾン)	8.5g / 本	吸入式鼻過敏症治療剤	シェリング・プラウ
フルタイド 50 ディスカス(プロピオン酸フルチカゾン)	50mg×60 / 個	吸入ステロイド喘息治療剤	グラクソ・スミスクライン
フルタイド 100 ディスカス(プロピオン酸フルチカゾン)	100mg×60 / 個	吸入ステロイド喘息治療剤	グラクソ・スミスクライン
ノボラビッド注 300 フレックスペン(インスリンアスパルト)	300 単位 / 3mL / 本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ベタフェロン皮下注(インターフェロン-β-1b)	960 万国単位 / V	インターフェロン製剤	シェーリング

院内処方医薬品について

* トシル酸スプラタスト Suplatast Tosilate

【商】アイピーディ IPD 大鵬

内用：ドライシロップ剤 1g 中 50mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】気管支喘息

【用】小児には 1 回 3mg/kg を 1 日 2 回朝食後及び夕食後に、用時溶解して投与する。1 日投与量は成人の 1 日用量 300mg を超えないこと。

〔年齢：1 回投与量〕3 歳以上 5 歳未満：37.5mg
5 歳以上 11 歳未満：75mg 11 歳以上：100mg

【副】黄疸，肝機能障害，ネフローゼ症候群，胃部不快感，嘔気，胃痛，下痢，口渇，食欲不振，口内炎，腹痛，嘔吐，腹部膨満感，舌のあれ，眠気，頭痛，痙攣，振戦，めまい，しびれ，白血球減少，好酸球増多，発疹，痒感，蕁麻疹，AST・ALT・ γ -GTP・LDH 上昇，ビリルビン・Al-P 上昇，蛋白尿，頻尿，生理不順，倦怠感・脱力感，浮腫，耳鳴，眼瞼乾燥感，発熱，ほてり，鼻出血，味覚異常，動悸，咳，胸部圧迫感

* ニフェジピン Nifedipine

【商】アダラート CR Adalat-CR バイエル

内用：錠剤(徐放性)(劇) 1 錠中 20mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，心原性ショックの患者

【効】高血圧症，腎実質性高血圧症，腎血管性高血圧症，狭心症，異型狭心症

【用】○高血圧症，腎実質性高血圧症，腎血管性高血圧症：1 日 1 回 20～40mg を投与する。1 日 10～20mg より投与を開始し，必要に応じ漸次増量する。○狭心症，異型狭心症：1 日 1 回 40mg を投与する。最高用量は 1 日 1 回 60mg とする。

【副】剥脱性皮膚炎，無顆粒球症，血小板減少，肝機能障害，黄疸，意識障害，AST・ALT・ γ -GTP・Al-P・LDH 上昇，黄疸，BUN 上昇，クレアチニン上昇，顔面潮紅，熱感，のぼせ，潮紅，動悸，血圧低下，起立性低血圧，浮腫，胸部痛，頻脈，頻尿，発汗，頭痛，めまい，倦怠感，眠

気，不眠，脱力感，筋痙攣，四肢しびれ感，悪心・嘔吐，便秘，上腹部痛，下痢，腹部不快感，口渇，胸やけ，食欲不振，発疹，痒感，光線過敏症，紫斑，歯肉肥厚，高血糖，血小板減少，貧血，呼吸困難，咳嗽，女性化乳房，視力異常

【妊】不可

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* 塩酸オロパタジン Olopatadine Hydrochloride

【商】アレロック Allelock 協和醗酵

内用：錠剤 1 錠中 5mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】アレルギー性鼻炎，蕁麻疹，皮膚疾患に伴う痒感(湿疹・皮膚炎，痒疹，皮膚痒症，尋常性乾癬，多形滲出性紅斑)

【用】1 回 5mg を朝及び就寝前の 1 日 2 回投与する。

【副】紅斑，痒感，浮腫，呼吸困難，眠気，倦怠感，口渇，頭痛・頭重感，めまい，しびれ感，集中力低下，腹痛，腹部不快感，嘔気，下痢，口内炎・口角炎・舌痛，胸やけ，AST・ALT・ γ -GTP・LDH・Al-P 上昇，総ビリルビン上昇，白血球・好酸球増多，白血球・リンパ球減少，尿潜血，尿蛋白陽性，クレアチニン・BUN 上昇，排尿困難，コレステロール上昇，尿糖陽性，胸部不快感，体重増加，味覚異常，月経異常，ほてり

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* メシル酸イマチニブ Imatinib Mesilate

【商】グリベック Glivec

ノバルティスファーマ

内用：カプセル剤(劇) 1 個中 100mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】慢性骨髄性白血病

【用】○慢性期：1 日 1 回 400mg を食後に投与する。1 日 1 回 600mg まで増量できる。○移行

期または急性期：1 日 1 回 600mg を食後に投与する。1 日 800mg(400mg を 1 日 2 回)まで増量できる。

【副】汎血球減少，白血球減少，好中球減少，血小板減少，貧血，脳出血，硬膜下出血，消化管出血，肝機能障害，黄疸，胸水，肺水腫，腹水，心膜滲出液，うっ血性心不全，肺炎，敗血症，急性腎不全，間質性肺炎，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，剥脱性皮膚炎，発疹，痒疹，角化症，紅斑，頭痛，不眠，頭重感，眠気，回転性眩暈，めまい，末梢神経障害，関節痛，筋肉痛，筋痙直，筋痙攣，骨痛，全身性関節痛，腰痛，嘔気，嘔吐，胸やけ，下痢，味覚異常，腹部不快感，消化不良，口腔アフタ，口内炎，歯周炎，胃炎，心窩部痛，血便，食欲不振，腹痛，便秘，LDH 上昇・低下，AST・ALT・ALP・総ビリルビン上昇，血清 K 上昇・低下，血清 Na 低下，血清 Ca 低下，血清 P 上昇・低下，血清アルブミン低下，尿酸値上昇・低下，血糖値上昇・低下，血清総蛋白上昇・低下，プロトロンビン時間延長・短縮，APTT 延長，フィブリノーゲン増加・減少，FDP 上昇，呼吸困難，鼻・咽頭炎，咽喉頭痛，急性上気道炎，咳嗽，リンパ球減少症，鼻出血，白血球増多，血小板増多，好酸球増多症，血腫，舌血腫，紫斑，結膜下出血，点状出血，斑状出血，クレアチニン・BUN 上昇，尿蛋白，尿潜血，尿沈渣異常，尿中ウロビリノーゲン増加，表在性浮腫，全身浮腫，下肢浮腫，倦怠感，悪寒，ACTH 上昇，TSH 上昇，脱力，寝汗，体重増加，感染，口唇ヘルペス，疣贅，眼充血，眼痒感，頭皮痛，疼痛，疲労感，発熱，発汗

【妊】不可 【授】授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* 塩酸ペロスピロン水和物

Perospirone Hydrochloride Hydrate

【商】ルーラン Lullan 住友

内用：錠剤(劇) 1 錠中 4mg

【禁】昏睡状態の患者，バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者，本剤に対し過敏症の患者，エピネフリンを投与中の患者

【効】精神分裂病

【用】1 回 4mg，1 日 3 回より始め，徐々に増量

する。維持量として 1 日 12～48mg を 3 回に分割し食後投与する。1 日量は 48mg を超えないこと。

【副】悪性症候群，遅発性ジスキネジア，麻痺性イレウス，SIADH，心悸亢進，胸内苦悶感，血圧低下，頻脈，心室性期外収縮，徐脈，血圧上昇，パーキンソン症候群，アカシジア，ジスキネジア，AST・ALT・ALP・ γ -GTP 上昇，視力障害，眼のかすみ，角膜びらん，発疹，紅斑，便秘，食欲減退，悪心・嘔吐，食欲亢進，腹部不快感，下痢，腹痛，プロラクチン上昇，月経異常，排尿障害，頻尿，白血球増加・減少，赤血球増加・減少，ヘモグロビン増加・減少，ヘマトクリット値増加・減少，血小板減少，白血球分類異常，不眠，眠気，焦燥・不安，めまい・ふらつき，過度鎮静，自殺企図，痙攣発作，興奮・易刺激性，頭重・頭痛，うつ状態，眼瞼下垂，頭鳴，頭部異常感，手のしびれ感，脱力倦怠感，口渇，CK 上昇，無力感，発汗，発熱，ほてり，射精障害，気分不快感，鼻閉，喀痰，体重増加，水中毒，多飲症，総コレステロール上昇・低下，総蛋白低下，血清 Na・Cl 低下，尿蛋白，尿糖，尿ウロビリノーゲン

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

【商】ティシール Tisseel バクスター

外用：ヒト凝固性蛋白質 180mg，トロンビン S 1,000 単位，トロンビン L 8 単位，アプロチニン液 6,000KIE，塩化カルシウム 8.88mg(2mL)

【禁】本剤の成分又は牛肺を原料とする製剤(アプロチニン等)に対し過敏症の既往歴のある患者，下記の薬剤による治療を受けている患者(凝固促進剤(蛇毒製剤)，抗線溶剤，アプロチニン製剤)

【効】組織の接着・閉鎖

【用】フィブリノーゲンをフィブリノーゲン溶解液全量で溶解し，A 液とする。トロンビン S(500 単位/mL)又はトロンビン L(4 単位/mL)を添付のトロンビン溶解液全量で溶解し，B 液とする。溶解した両液の等用量を，接着・閉鎖部位に滴下・噴霧又は混合して適用する。トロンビン S，トロンビン L は術野の状況及び術式に応じて適宜選択し，使用すること。10cm² あたり A 液 B 液各々 1mL を適用する。

【副】ショック，過敏症，発熱，嘔吐，頭痛

【妊】未確立，有益のみ

【未・新・小】未確立，有益のみ

【貯】10 以下

* フェンタニル Fentanyl

【商】デュロテップ Durotep 協和醗酵

外用：貼付剤(麻)(劇) 1 枚中 2.5mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症のある患者

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】本剤はモルヒネ製剤から切り替えて使用する。胸部，腹部，上腕部，大腿部等に貼付し，3 日毎(約 72 時間)に貼り替えて使用する。

【副】薬物依存，退薬症候(減量・中止による)，呼吸抑制，血圧上昇，頻脈，徐脈，血圧低下，眠気，不穏，不眠，傾眠，健忘，めまい，いら感，幻覚，多幸症，頭痛，錯乱，便秘，嘔気，嘔吐，下痢，口渇，尿閉，貼付部位の癢痒感，発疹，瘡痒，貼付部位の紅斑，紅斑，発熱，倦怠感，発汗

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

* 人血清アルブミン Human Serum Albumin

【商】アルブミン Albuminar

アベンティスベーリングジャパン

注射：液剤 1 瓶(250mL)中アルブミン 12.5g

【禁】本剤の成分に対しショックの既往歴のある患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】アルブミンの喪失(熱傷，ネフローゼ症候群など)及びアルブミン合成低下(肝硬変症など)による低アルブミン血症，出血性ショック

【用】1 回 100～250mL(5～12.5g)を緩徐に静注又は点滴静注する。

【副】ショック，発熱，顔面潮紅，蕁麻疹，悪寒，腰痛

【妊】未確立，有益のみ

【未・新】未確立

* イオヘキソール Iohexol

【商】オムニパーク Omnipaque 第一

注射：液剤 300(CT 用)：1 筒(150mL)中ヨードとして 45g

【警】1)ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。2)本剤は尿路・CT 用造影剤であり，特に高濃度製剤(350mgI/mL)については，

脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので，脳槽・脊髓造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者，重篤な甲状腺疾患のある患者，一般状態の極度に悪い患者，気管支喘息の患者，重篤な心障害のある患者，重篤な肝障害のある患者，重篤な腎障害(無尿等)のある患者，急性膵炎の患者，マクログロブリン血症の患者，多発性骨髄腫の患者，テタニーのある患者，褐色細胞腫の患者及びその疑いのある患者

【効】脳血管撮影，選択的血管撮影，四肢血管撮影，デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影，デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影，コンピューター断層撮影における造影，静脈性尿路撮影

【用】○脳血管撮影：5～15mL ○選択的血管撮影：5～50mL ○四肢血管撮影：10～50mL ○デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影：1.5～50mL ○デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影：20～50mL ○コンピューター断層撮影における造影：40～100mL，高速ラセンコンピューター断層撮影で腹部の撮影を行う場合は 150mL まで投与可能 ○静脈性尿路撮影：50～100mL

【副】ショック(遅発性を含む)，アナフィラキシー様症状(遅発性を含む)，急性腎不全，痙攣発作，肺水腫，肝機能障害，黄疸，心室細動，冠動脈攣縮，Stevens-Johnson 症候群，血小板減少，一過性麻痺，失神，意識消失，発疹，蕁麻疹，発赤，癢痒感，血圧低下，熱感，血圧上昇，頻脈，徐脈，不整脈，顔面蒼白，動悸，呼吸困難，咳，くしゃみ，咽・喉頭不快感，喘息発作，鼻閉，頭痛，めまい，目のかすみ，一過性盲，悪心，嘔吐，腹痛，倦怠感，発熱，悪寒，胸内苦悶感

【妊】未確立，有益のみ

【授】48 時間授乳回避

【幼・小】慎重

* ビアペネム Biapenem

【商】オメガシン Omegacin 明治

注射：1 瓶中 300mg

【禁】本剤の成分によるショックの既往歴のある患者，バルプロ酸ナトリウムを投与中の患者，

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】慢性呼吸器疾患の二次感染，肺炎，肺化膿症，腎盂腎炎，複雑性膀胱炎，腹膜炎，子宮旁結合織炎

【用】1日0.6gを2回に分割し，30分～60分かけて点滴静注する。投与量の上限は1日1.2gまでとする。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，間質性肺炎，PIE症候群，偽膜性大腸炎，痙攣，意識障害，Stevens-Johnson症候群，Lyell症候群，無顆粒球症，溶血性貧血，汎血球減少症，重篤な肝障害，急性腎不全，血栓性静脈炎，発疹，瘙痒，蕁麻疹，好酸球増多，白血球減少，プロトロビン時間延長，好塩基球増多，血小板増多，赤血球減少，ヘマトクリット値減少，好中球増多，血小板減少，血色素量減少，リンパ球増多，単球増多，ALT上昇，AST・ γ -GTP・ALP・LAP・LDH・ビリルビン上昇，NAG上昇，尿中 β_2 -ミクログロブリン上昇，BUN上昇，蛋白尿，血清クレアチニン上昇，血清アミラーゼ上昇，下痢，嘔気，腹痛，嘔吐，食欲不振，喘息発作，しびれ感，口内炎，カンジダ症，ビタミンK欠乏症状，ビタミンB群欠乏症状，高カリウム血症，発熱，頭痛，腹痛，気分不良，浮腫

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* 酢酸ゴセレリン Goserelin Acetate

【商】ゾラデックス LA Zoladex LA
アストラゼネカ

注射：（劇）1筒中10.8mg

【禁】本剤の成分又はLH-RH作動薬に対し過敏症の既往歴のある者

【効】前立腺癌

【用】本剤10.8mgを前腹部に12～13週毎に1回皮下注する。

【副】骨性疼痛，尿路閉塞，排尿困難，脊髄圧迫，アナフィラキシー，間質性肺炎，肝機能障害，黄疸，高血圧，低血圧，瘙痒感，発疹，性欲減退・勃起力低下，乳房腫脹・圧痛，排尿困難，BUN上昇，クレアチニン上昇，蛋白尿，AST・ALT・ γ -GTP上昇，ALP・LDH上昇，感覚異常，悪心，嘔吐，骨性疼痛，関節痛，骨塩量低下，貧血，白血球減少，血小板減少，軽度の

皮下出血，発汗，体のほてり，トリグリセライド上昇，コレステロール上昇，食欲不振，倦怠感，顔面潮紅，発熱，浮腫，体重増加，鼻出血，血糖値上昇，下垂体卒中

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】冷所

* 下垂体性性腺刺激ホルモン

Human Menopausal Gonadotropin

【商】ヒュメゴン Humegon オルガノン

注射：1管中卵胞成熟ホルモンとして100国際単位

【警】本剤の投与に引き続き，胎盤性性腺刺激ホルモン製剤を投与した場合又は併用した場合，血栓症，脳梗塞等を伴う重篤な卵巣過剰刺激症候群があらわれることがある。

【禁】卵巣腫瘍の患者及び多嚢胞性卵巣症候群を原因としない卵巣腫大のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，児を望まない第2度無月経患者，多嚢胞性卵巣のある患者

【効】間脳性（視床下部性）無月経，下垂体性無月経の排卵誘発

【用】1日75～150国際単位を添付の生理食塩液で溶解して連続筋注し，頸管粘液量が約300mm³以上，羊歯状形成（結晶化）が第3度の所見を呈する時期を指標として（4～20日間，通常5～10日間），胎盤性性腺刺激ホルモンに切り換える。

【副】卵巣過剰刺激症候群，血栓症，脳梗塞，卵巣破裂，卵巣茎捻転，呼吸困難，肺水腫，発赤，発疹，ほてり，投与部疼痛，悪心，頻尿，しびれ感，頭痛，浮腫，尿量増加

【妊】未確立，不可

* インターフェロン - β - 1b Interferon β -1b

【商】ベタフェロン Betaferon シェーリング

注射：（劇）1瓶中960万国際単位

【警】1．本剤の投与により，自殺企図，間質性肺炎があらわれることがあるので，投与にあたっては，精神神経症状や呼吸器症状が発現する可能性があることを患者等に十分説明し，不眠，不安，咳，呼吸困難等があらわれた場合には直ちに連絡するよう注意を与えること。2．注射部壊死があらわれることがあるので，観察を十分に行い，異常が認められた場合には投与を中止するなど，適切な処置を行うこと。

【禁】本剤又は他のインターフェロン製剤及びヒトアルブミンに対し過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，重度のうつ病又は自殺念慮の既往歴のある患者，非代償性肝疾患の患者，自己免疫性肝炎の患者，治療により十分な管理がされていないてんかん患者，小柴胡湯を投与中の患者，ワクチン等生物学的製剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】多発性硬化症の再発予防及び進行抑制

【用】800 万国際単位を皮下に隔日投与する。

【副】うつ病，自殺企図，間質性肺炎，注射部壊死，痙攣，錯乱，離人症，情緒不安定，筋緊張亢進，重度な過敏反応，高度な白血球減少 ($2,000/\text{mm}^3$ 未満)・血小板減少 ($50,000/\text{mm}^3$ 未満)，汎血球減少，重篤な肝障害，心筋症，甲状腺腫，甲状腺機能異常，敗血症，糖尿病，自己免疫現象によると思われる症状・徴候(溶血性貧血，IDDM の増悪又は発症等)，ショック，Stevens-Johnson 症候群，急性腎不全，HUS，脳出血，消化管出血，球後出血，痴呆様症状，麻痺，心不全，狭心症，ネフローゼ症候群，感冒様症候群，AST・ALT・ γ -GTP 上昇，肝炎，膀胱炎，尿意切迫，蛋白尿，不眠，めまい，偏頭痛，運動過多，健忘，傾眠，緊張亢進，神経過敏，言語障害，心悸亢進，高血圧，頻脈，末梢血管障害，不整脈，出血，低カルシウム血症，高尿酸血症，トリグリセリド上昇，低血糖，体重増加，体重減少，咽頭炎，呼吸困難，副鼻腔炎，喉頭炎，嘔気，下痢，嘔吐，胃腸障害，便秘，腓炎，脱毛，結膜炎，視力異常，月経異常，不正出血，月経過多，骨盤痛，乳房痛，乳腺線維嚢胞症，乳房腫瘍，注射部の発赤・疼痛・硬結・痒痒感・腫脹・発疹，頭痛，熱感，食欲減退，腰痛，無力症，腹痛，全身浮腫，気分不良，嚢胞，リンパ節症，筋無力症

【妊】不可

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【幼・小】未確立

* ガドペンテト酸メグルミン

Meglumine Gadopentetate

【商】マグネビスト Magnevist シェーリング
注射：液剤 1 筒(5mL)中 1.86g

【警】1)ショック，アナフィラキシー様症状等の重篤な副作用が発現することがある。特に気

管支喘息の患者ではそれ以外の患者よりも高い頻度で重篤な副作用が発現するおそれがある。

2)本剤の投与にあたっては，必ず救急処置の準備を行うこと。3)本剤を髄腔内に投与すると重篤な副作用を発現するおそれがあるので，髄腔内には投与しないこと。

【禁】一般状態の極度に悪い患者，気管支喘息の患者，重篤な肝障害のある患者，重篤な腎障害のある患者

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記造影：脳・脊髄造影，躯幹部・四肢造影

【用】0.2mL/kg を静注する。腎臓を対象とする場合は，0.1mL/kg を静注する。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，痙攣発作，蕁麻疹，発疹，痒痒感，顔面潮紅，潮紅，動悸，血圧低下，血圧上昇，咳嗽，くしゃみ，鼻閉，眩暈，頭痛，しびれ，発汗，嘔気・嘔吐，口渇，熱感，気分不良，結膜充血，発熱，悪寒

【妊】未確立，有益のみ

【授】24 時間授乳回避

【未・新・乳】未確立 【幼・小】慎重

【貯】遮光